

「知能情報南棟・北棟（旧 C 棟・D 棟）の改修」

外観（表紙の写真）について

工学部情報工学科が誕生してまだ間もない頃、知能情報南棟・北棟は、それぞれ昭和50年、51年に建てられました。以来、知能情報工学科の教育・研究の場として、C 棟、D 棟（正式名称は1号館、2号館）の通称で長年親しまれてきましたが、40年以上が経過して設備の老朽化が進み、学年、研究室を超えて交流できる空間や学生サポートのためのスペース確保も難しくなってきました。そこで、教育・研究をより効率的・効果的に実施できる環境を整えるため、平成27年より改修の申請を続けた結果、ようやく念願が叶って南棟は平成31年冬、北棟は令和2年冬に改修が認可され、南棟の改修は令和2年3月、北棟の改修は令和3年3月に竣工しています。今回の改修で、南棟2、3、4、5階、北棟2階には最先端の研究を行う6つの研究室、南棟の1階と2階には各々、学生実験室と電算室、北棟1階にはVRルーム、脳計測ルーム、計算機クラスルーム等の特別な実験スペースに加え、広い会議室やパブリックスペースを新設しました。

設備について



長年、知能情報工学科の講義が行われてきたC20教室が、100台以上の最新のコンピュータが並ぶ電算室として生まれ変わりました（左写真）。コンピュータの入門教育からソフトウェアの応用教育まで、知能情報の全学生がここで学びます。階段教室をフラットな床に一新し、ICT、IoT、AI、データサイエンス分野を支える人材育成のための演習を実施しやすくしました。

居室の改修にあたっては、インフラを新しくするだけでなく、各研究室の特性を生かした設備を整えています。また、北棟1階には特別な仕様の実験室を配置しました。例えば、3面の壁と床をプロジェクタ対応にしたVRルーム（右写真）では、VR/AR/MRに関する実験やデモを行うことができます。さらに、脳計測ルームや計算機クラスルーム等も導入しました。



南棟1階と北棟1階には、自律自走ロボットを製作するためのシステム設計及び実験を行う実験室や、電算室が使用中でもソフトウェアの自習ができる小さい電算室を配置しました。

また会議室を広く改修するとともに、左の写真のようにシンポジウム、講演会、広いスペースが必要な実験など、様々な用途に対応できるパブリックスペースを新設しました。

祝 徳島大学工学部創立 100 周年

2022年10月に工学部創立100周年を迎えます。創立100周年を機に理工学部及び生物資源産業学部の益々の発展と社会の期待に応えられる人材の育成を図るべく、100周年記念事業を実施いたします。

■徳島大学工学部創立100周年記念事業キャッチコピーの募集

創立100周年を記念して、学内外に広くPRし、その気運を盛り上げるため、キャッチコピーを募集しています。

創立100周年記念事業の興味、関心を喚起するキャッチコピーを20文字以内で表現し、右の折り込みハガキ、またはURLからご応募ください。<https://forms.office.com/r/d3wsffU5WJ>

■ご寄附のお願い

徳島大学工学部創立100周年記念事業を成功させるため、皆様からのご寄附をお願い申し上げます。詳しくは、同封パンフレットをご参照願います。